

【数学 解答】



(教科書P18)

例1 ②

和の符号は2つの数の共通の符号になり、絶対値は2つの数の絶対値の和になっている

たしかめ1

(1) $+9$

(2) $+7$

(3) -6

(4) -13

(教科書P19)

例2 ②

和の符号は絶対値の大きいほうの数の符号になり、絶対値は、絶対値の大きいほうから小さいほうをひいた差になっている。

たしかめ2

(1) $+1$

(2) -2

(3) 0

(4) $+6$

(教科書P20)

問1

(1) $+5$

(2) -12

(3) -2

(4) 0

(5) $+7$

(6) -28

(7) -32

(8) -12

問2

(1) -0.4

(2) -1.4

(3) $-\frac{4}{5}$

(4) $+\frac{1}{4}$

(5) $-\frac{1}{2}$

(6) $+\frac{1}{14}$

(教科書P21)

Q 調べてみよう 変わらない

例1 ②

(1) 正の数どうし、負の数どうしを先に計算している。

(2) $(+6) + (-6) = 0$ になることを使って、計算をしている。

問3

(1) -5

(2) $+1$